

最近の活動

予算特別委員会で自民党県議団を代表して質問しました。

平成25年度の3月定例会では、自民党県議団の副幹事長として予算特別委員会のトップバッターで約1時間の質問に取り組みました。

景気回復基調にはあるものの、国民の多くにはその実感がありません。膨大化し続ける県債についてや、消費税増税後の対策についてなど、兵庫県の財政状況について質問を行い、将来に負担を先送りしないために歳出削減に取り組むことを求めました。

- 経済、雇用情勢の現状認識および消費税率引き上げ後の状況について
- 消費税率引き上げ後の持続的な本県経済の成長につなげる取り組みについて
- 県民局組織の見直しについて ほか計9問



その他、会派内の割り当てで警察、県土整備、教育の分野でそれぞれ質問を行いました。

- 警察／ ● 少年補導について
● 無灯火などの自転車運転者に対する取り締まり強化について
● 犯罪被害者支援について
- 県土整備／ ● 兵庫県全域、および西宮市の津波対策について
● 武庫川の総合治水対策について
● 西宮市内の排水機場更新について
- 教育委員会／ ● 食育の推進について
● キャリア教育について



↓ 質問の様子はインターネットで見ることができます ↓

<http://www.hyogokengikai.jp/broadcast/rokuga201402y.html>

質問の議事録は数週間後にインターネット上で公開されます。
コピーをご希望の方は大前はるよ事務所までご連絡ください。

県議団文教部会で教科書採択問題、教育委員会制度改革等について調査しました。

1月14日午後から15日にかけて、自民党会派内の教育についての研究会「文教部会」で東京へ視察に行っていました。

14日は育鵬社にて、歴史、公民の教科書について現在採択されている教科書の記述を比較した資料などを用いて、国の教科書問題の審議会の元メンバーの方々から審議会の当時の状況をお伺いしました。そして、教育委員会が機能していない現在の教科書採択方法、史実や領土の記述についての課題などを確認し、私たち地方議員がどのように取り組めるかについて意見交換しました。



15日は自民党本部にて、山谷えりこ参議院議員、末松信介参議院議員より、教科書検定・採択制度改革や道徳教育の教科化について

経緯と現状についてお伺いしました。平成23年に自民党県議団主導で作成された兵庫県の道徳副読本についても評価をしていただきました。午後は文科省にて教育委員会制度改革について説明を受けた後、下村博文文部科学大臣と意見交換をさせていただきました。次年度は教科書採択前年の重要な年となりますので、子供たちが歴史を正しく学び、先人への敬意を育めるよう取り組んでまいります。

